



2021年7月16日

各 位

会 社 名 鴻 池 運 輸 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦  
(コード番号：9025 東証第一部)  
問 合 せ 先 執行役員 田辺 茂樹  
経営企画本部本部長  
TEL 03-3575-5753

**「天候に左右されにくい作業環境、作業効率の向上を目指した構造  
北海道に飲料・日用品向け自社新倉庫を開設、約 33 億円を投資  
2021年7月13日稼働開始、7月15日に竣工式を実施」**

当社は、サントリーの飲料製品や、その他企業の日用品などの保管・配送拠点で、流通工場も完備する新倉庫「新千歳流通センター」を、北海道千歳市に開設しました。新倉庫は、2020年7月16日に着工、2021年7月13日に稼働開始し、7月15日に竣工式を実施しました。投資額は約33億円です。

つきましては、本日添付のニュースリリースを行いましたので、お知らせいたします。

以 上

天候に左右されにくい作業環境、作業効率の向上を目指した構造

## 北海道に飲料・日用品向け自社新倉庫を開設、約33億円を投資

2021年7月13日稼働開始、7月15日に竣工式を実施

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦）は、サントリーの飲料製品や、その他企業の日用品などの保管・配送拠点で、流通加工場も完備する新倉庫「新千歳流通センター」を、北海道千歳市に開設しました。新倉庫は、2020年7月16日に着工、2021年7月13日に稼働開始し、7月15日に竣工式を実施しました。投資額は約33億円です。

これまで当社が使用してきた北海道千歳市近郊の既存倉庫7カ所（賃貸倉庫含む）では、慢性的な満床状態が続いていたため、これを解消するとともに、備蓄も可能な規模の倉庫の必要性が高まったことから、今回の新倉庫建設に至りました。

新倉庫の主な特徴は以下のとおりです。稼働開始後は、安定的で効率的な倉庫運営を図ってまいります。

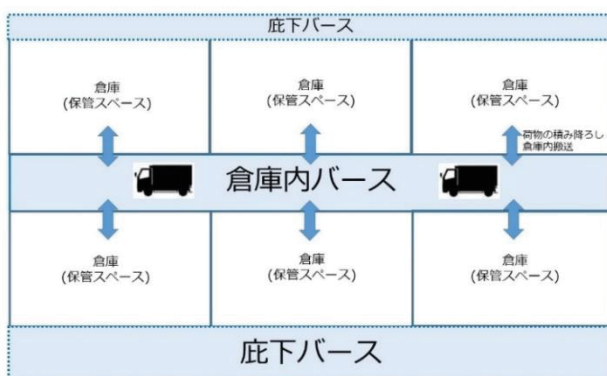
### 1. 天候に左右されにくく快適な作業環境で、労働負荷を軽減

- ・車両から荷物を積み降ろすバースを倉庫内に設置したことで、特に積雪・降雪の影響が大きい冬季でも作業可能。また、ドライバーやフォークリフトオペレーターにとって厳寒の労働環境を改善
- ・倉庫バース・事務所の屋根には、ヒーターを設置し、積雪を溶かして排水するため、雪下ろし作業が不要
- ・ギフト商品の包装やラベル貼りなどを行う流通加工の作業場は、空調管理された快適な環境を確保

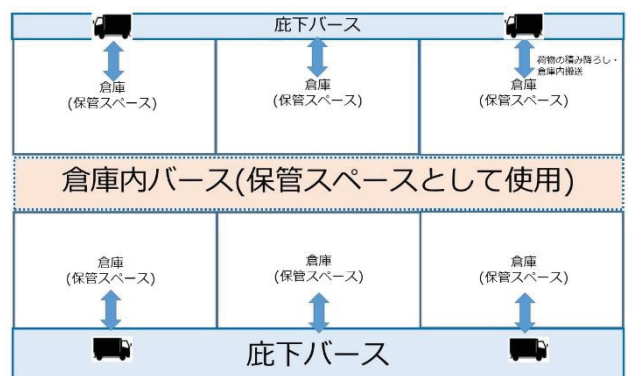
### 2. 作業効率の向上を目指した構造

- ・倉庫と地面の高さが同じ「低床式」で、1台のフォークリフトで車両からの荷物の積み降ろし～倉庫内搬送まで作業可能
- ・倉庫内バースで、車両・倉庫間の入出庫作業導線を短縮。また、繁忙を見込む夏季は底下バースも最大限活用し、さらに倉庫内バースを保管場所として活用するなど、物流波動に応じた荷捌きが可能
- ・通常シャッターに加えシートシャッターを併設したことで、害虫の侵入や塵・風の吹き込みを抑制し作業効率アップ

#### ■冬季は主に倉庫内バースを活用



#### ■夏季は主に底下バースを活用



また、既存倉庫 7 カ所を 1 カ所に集約することで、従来拠点間で発生していた輸送が不要となり、CO<sub>2</sub> 排出量削減（16.5 トン/年削減予想）、輸送効率化によるドライバーの拘束時間削減（新千歳流通センター全ドライバーの年間削減予想時間合計：3,400 時間）などの効果も見込んでいます。

■ 7月15日の竣工式における鴻池運輸 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦のコメント

今回の新センター建設は、既存センターの庫腹不足や老朽化への対応はもちろんですが、BCP 体制が担保された常設センターの必要性があること、有事における出荷能力確保によりお客さまの商品供給を止めないことを理由として決断しました。コロナ禍もいまだ収束せず、自然災害も増加する中、社会の基盤、ライフラインとしての物流の重要性が改めて見直されており、当社は社会の公器としてその務めを果たしてまいります。また今後、新技術による DX の加速が物流の在り方も大きく変えていく中で、お客さまや社会が求める本質をしっかりと理解し、形にしていきたいと考えています。

■ 新千歳流通センターの概要と特徴

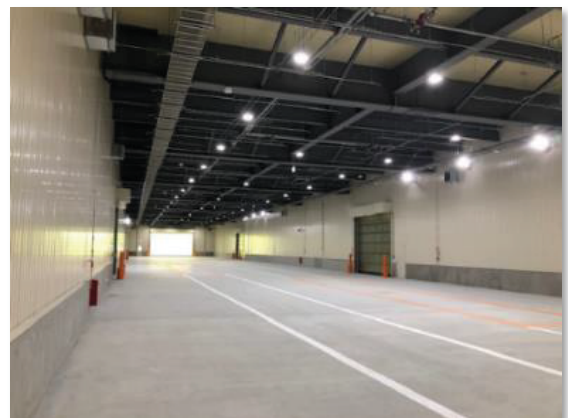
名称	新千歳流通センター
延床面積	16,560 m <sup>2</sup> (事務所除く)
規模	鉄骨造り 2 階建倉庫
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低床式</li> <li>・ 倉庫内バース5台、庇長13m使用バース3台、庇長3m使用バース3台</li> <li>・ 倉庫バース・事務所の屋根に積雪を溶かすヒーターを設置</li> <li>・ 倉庫内バース入退場時の安全装置を設置</li> <li>・ 防風・防水・防塵・防虫・温度維持に効果の高いシャッターの二重構造 (通常シャッター、シートシャッター)</li> <li>・ 空調管理された流通加工場の完備</li> <li>・ 垂直搬送機：パレット専用2基、カゴ車・パレット兼用1基</li> </ul>
稼働開始日	2021 年 7 月 13 日
所在地	北海道千歳市北信濃 863-2

※北海道では、今般開設した「新千歳流通センター」の他、千歳第 2 流通センター（北海道千歳市）、札幌定温流通センター（北海道石狩市）の 3 拠点が稼働中です

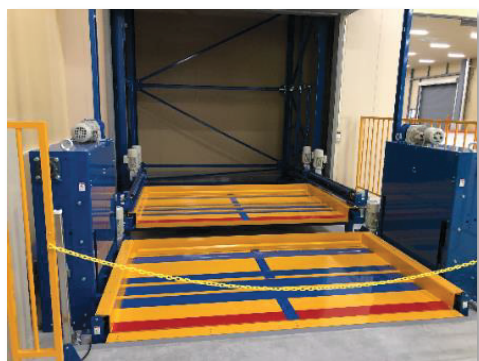
■ 新千歳流通センターの外観



■ 倉庫内に設置したバース



■倉庫内のカゴ車・パレット兼用搬送機



■竣工式の様子（鴻池社長がご挨拶）



（報道関係者様お問い合わせ先） 広報室 古屋、<sup>じくはら</sup>竺原 tel:03-3575-5753

■鴻池運輸株式会社の概要（<https://www.konoike.net/>） ※2021年3月期

KONOIKEグループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証1部	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約24,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	292,348百万円（連結）	営業利益	3,997百万円（連結）
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		